		③　油圧ポンプに負荷をかけて、負荷時の吐出量及び吐出圧力を調べる。 ただし、②の検査の結果、異常振動、異音及び異常発熱がない場合は、この検査を省略することができる。	③　吐出量及び吐出圧力が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
⑸　ＨＳＴ用ポンプ付属弁	ａ　ポンプコントロール弁	①　前進、後進及び中立の切換えが円滑に行えるかを調べる。	①　切換えが円滑であること。
		②　中立位置の適否を調べる。	②　ポンプの中立位置と一致し、中立位置で機械が静止していること。
		③　接合部及びシール部からの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
	ｂ　プレッシャーオーバーライド弁	①　プレッシャーオーバーライド弁の作動圧をかけ、ポンプの吐出量を調べる。	①　吐出量が０になること。
		②　接合部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑹　油圧モーター		①　パイプ及びホースとの継手部並びにシール部からの油漏れの有無を調べる。	①　油漏れがないこと。
		②　油圧モーターを作動させ、無負荷及び負荷状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	②　作動状態に異常がなく、かつ、異常振動、異音及び異常発熱がないこと。
⑺　油圧シリンダー		①　油圧シリンダーの作動の適否を調べる。	①　円滑に作動すること。
		②　数回伸縮させた後、シール部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
		③　負荷をかけて静止させ、シリンダーの伸縮量を調べる。	③　伸縮量が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
		④　シリンダーチューブ及びロッドの打痕、亀裂、曲がり及び擦り傷の有無を調べる。	④　打痕、亀裂、曲がり及び擦り傷がないこと。
⑻　方向制御弁（コントロール弁、パイロットコントロール弁を含む。）		①　スプールを動かし、円滑に作動するか調べる。	①　円滑に作動すること。
		②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
⑼　電磁弁		①　電磁弁を作動させて、異音及び異常発熱の有無並びに作動の適否を調べる。	①　異音及び異常発熱がなく、かつ、正常に作動すること。
		②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑽　圧力制御弁（安全弁、減圧弁、シーケンス弁、カウンターバランス弁、アンロード弁、ブレーキ弁を含む。）		①　アクチュエーターを作動させる等により負荷をかけ、作動の適否を調べる。	①　圧力制御弁が正常に作動すること。
		②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑾　流量制御弁（絞り弁、フローコントロール弁、デバイダー弁を含む。）		①　アクチュエーターを作動させて、作動の適否を調べる。	①　流量制御弁が正常に作動すること。
		②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑿　逆止め弁（チェック弁、パイロットチェック弁、シャトル弁を含む。）		①　アクチュエーターを作動させて、作動の適否を調べる。	①　逆止め弁が正常に作動すること。
		②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⒀　オイルクーラー		①　暖機運転の後、油温の適否を調べる。	①　冷却効果が適正であること。
		②　フィンの目詰まり並びにパイプの変形及び破損の有無を調べる。	②　目詰まり、著しい変形及び破損がないこと。
		③　油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。